



2022年3月28日

鉄道業界初、日本政策投資銀行(DBJ)から DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンでの資金調達を決定

東急株式会社

当社は、株式会社日本政策投資銀行(以下、DBJ)との間で、DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン(以下、本ローン)による金銭消費貸借契約を締結することを決定しました。DBJの本ローンの活用は、鉄道業界では当社が初となります。

本ローンは、Loan Market Associationなどが策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則」(以下、SLLP)および環境省が策定した「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」(以下、環境省ガイドライン)に基づき、貸付人であるDBJが対話を通じて、借入人のサステナビリティ経営高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケータ(以下、KPI)とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、SPT)の設定を支援するとともに、貸付期間中の定期的な対話によりSPTの達成に向けた伴走を行うものです。

当社は、グループスローガン「美しい時代へ」のもと、「サステナブル経営」を方針とし、「未来に向けた美しい生活環境の創造」および「事業を通じた継続的な社会課題の解決」を進めており、環境と調和する持続可能なまちづくりに一層取り組むべく、本日付で「環境ビジョン2030」を策定しました。

本ローンでは、「環境ビジョン2030」で掲げた2050年CO₂排出量実質ゼロに向けた新たなCO₂排出量削減目標をKPIおよびSPTとして設定しています。

鉄道事業においては、ホームドア・センサー付固定式ホーム柵の整備や東急電鉄所属全車両への車内防犯カメラ設置など、「安全・安心」への対応に加え、環境に配慮した設備の導入や再生可能エネルギーの活用など、「脱炭素・循環型社会」実現に向けた施策を積極的に行っており、東急線全路線で2022年4月1日(金)より再生可能エネルギー由来の実質CO₂排出ゼロの電力※にて運行することを本日付で発表しました。

本ローンで調達した資金は、鉄道事業の設備投資資金に充当し、環境負荷の低い設備機器や新型車両の導入、気候変動適応に向けた対策などを通じて、当社のサステナブル経営を推進します。

※ RE100に対応したトラッキング付非化石証書活用による

【DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンの概要】

契約締結日	2022年3月31日
借入額	18,497百万円
KPI	当社および連結子会社のCO ₂ 排出量(総量ベース、スコープ1及び2)の削減率(2019年度比)
SPT	2030年度削減率46.2%

以上

【別紙】

■当社における内部レビューの実施について

1. 内部レビューの選択

本ローンの実行に際し、SLLPおよび環境省ガイドラインへの適合性については当社およびDBJ間で協議し、内部レビューを選択するに至りました。

2. SPTの概要

当社および連結子会社の2030年度CO₂排出量削減率46.2%(2019年度比)

3. SPTに関する内部専門性

当社は、グループスローガン「美しい時代へ」の実現に向け、サステナブル経営を推進しています。経営企画室サステナブル経営戦略グループおよび社長室ESG推進グループが協働し、サステナブル経営を推進しているほか、社長執行役員を議長とし、執行役員、常勤監査役、各部門長などにより構成されるサステナビリティ推進会議にて、サステナビリティに関する情報共有・指示が行われています。連結子会社に対しても同様に東急グループサステナビリティ推進会議にて、連結各社のサステナビリティ推進責任者への情報伝達・共有を行うことで、施策展開を実施しています。

■当社関連リリース

「環境ビジョン2030」へのリンク

<https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=20220328-1.html>

「鉄軌道全路線の再生可能エネルギー由来の実質CO₂排出ゼロの電力での運行の取り組み」へのリンク

<https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=20220328-2.html>

■対話報告書(公表版)へのリンク

https://www.dbj.jp/upload/dbj_news/docs/1bf5ced527f22da403af0f91d12be6dc.pdf

以 上